

## 情報管理部

## 平成19年度の情報管理センターの出えん要望額について

情報管理センターが実施する情報管理業務については、平成16年度からの8年間累積収支で約20.3億円(必要運転資金約1.3億円含む)の不足が見込まれるため、この不足額について平成18年度から平成23年度までの6年間に段階的に特定再資源化預託金等を出えんすることが平成18年1月開催の第12回資金管理業務諮問委員会において審議・承認をされているところ。

これを踏まえ平成19年度の特定再資源化預託金等の出えんを以下のとおりお願いしたい。

## ＜平成19年度出えん要望額＞

特定再資源化預託金等の出えん要望においては、情報管理業務の運営資金に不足がなく、かつ資金余剰が生じぬよう、当該年度の収支状況に加え必要となる運転資金を斟酌して考えることとなるが、これをまとめると次のとおり。

(単位:百万円)

	平成18年度			平成19年度
	当初予算	実績見込	差異(注2)	予算
前期繰越収支差額	58	123	65	253
収入	591	661	70	673
支出	929	881	△48	908
当年度収支差額	△338	△220	118	△235
(出えん前)次期繰越収支差額	△280	△97	183	18
特定再資源化預託金等出えん額	(注1) 350	350	0	110
(出えん後)次期繰越収支差額	(注1) 70	253	183	128

(注1) 平成18年度においては出えん可能限度額である約374百万円を斟酌して350百万円として出えん要望。

なお、(出えん後)次期繰越収支差額は必要な運転資金額を下回ることになる見込であったが、短期の借入金で必要資金を補うことを想定。

(注2) 改定後の情報管理料金の対象台数が想定を上回ったこと等により、183百万円の収支改善が図られた。

上記のとおり平成19年度の収支状況としては特定再資源化預託金等からの出えんを受けない場合、次期繰越収支差額は18百万円となる見込み。一方、情報管理業務に必要な運転資金は約130百万円である。そのため約110百万円が不足することから、平成19年度の特定再資源化預託金等の出えんを110百万円としてお願いしたい。

以上